

枝豆の品種及びは種期と冷凍用原料としての適性について

森高明・久保竜子・村井修・宮脇弘三・太田勝美

冷凍枝豆用品種の選定のため10品種を用いて生育日数,2,3粒入莢収量,莢および子実の外観ならびに子実のパーオキシダーゼ活性を調べ,5品種を用いては種期をかえた場合の生育日数,2,3粒入莢収量および製品の風味を調査して次の結果がえられた。

1. 収量,莢および子実の外観等の調査結果から4月中旬ないし5月中旬には種する品種では白鳥あるいは大袖振が比較的良好品種と考えられた。
2. 子実のパーオキシダーゼの耐熱性は品種によって差が認められたが,100°C,4分間ブランチングを行うと凍結保存後には各品種とも活性が認められなくなった。
3. 冷凍枝豆の風味はは種期によって品種間に差が認められたが,一定の傾向が得られなかった。